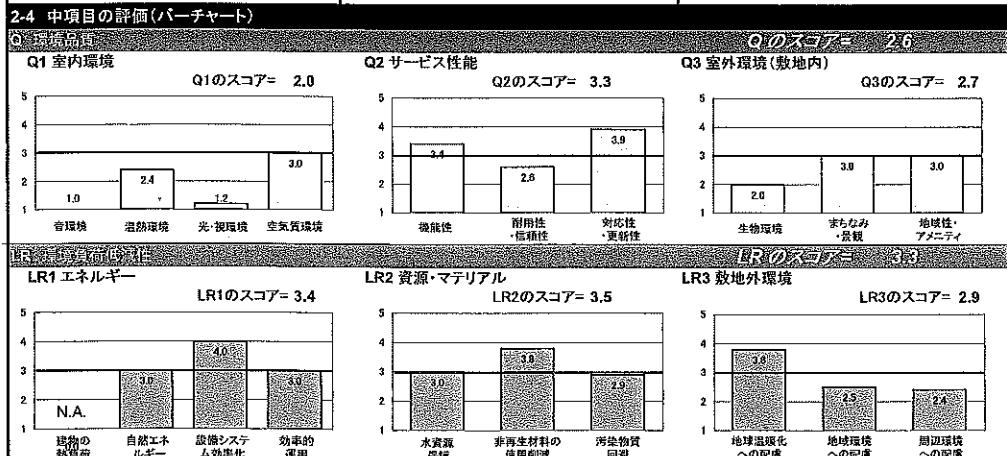
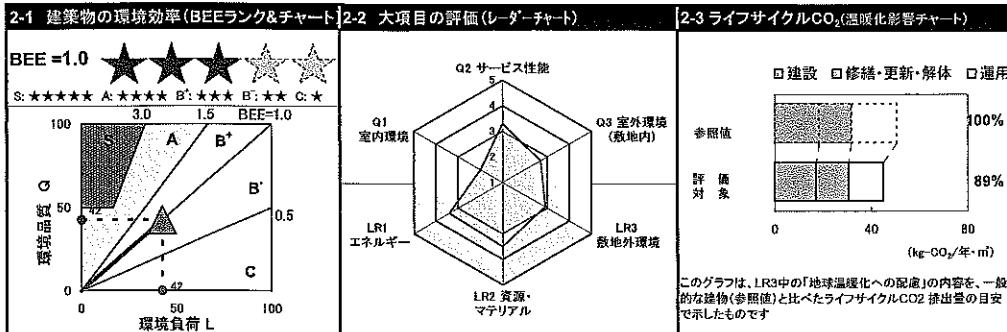


CASBEE[®] とつとり

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新策(新島版)2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名稱	関東運輸(株)米子倉庫	階数 構造	地上1F 5造
建設地	鳥取県米子市流通町430-24	平均居住人員	0人
用途地域	準工業地域、防火指定なし	年間使用時間	2,500時間/年
気候区分	地域区分Ⅳ	評価の段階	実施設計段階評価
建物用途	工場	評価の実施日	2012年5月7日
竣工年	2012年9月 予定	作成者	櫻井
敷地面積	4,693 m ²	確認日	2012年5月8日
建築面積	2,736 m ²	確認者	櫻井
延床面積	2,736 m ²		



3 設計上の配慮事項		
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 冷凍冷蔵庫に必要な最小限の設備とし、不必要な二酸化炭素の排出が出来ないよう配慮した。	注) 上記の3つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物全体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 チルド(+5°C)、バーシャル(0°C)、フローズン(-25°C)、ドライ(常温)と温度帯を細かく分け、過剰な設備とならないように設計した。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 該当なし。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 道路面両側には、緑地を計画した。
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 主要構造の鉄骨は、電炉鋼材を、コンクリートは高炉セメントを利用している。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 主要構造の鉄骨は、電炉鋼材を、コンクリートは高炉セメントを利用している。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内にラップバーを確保し、近隣等に洪害が発生しないように配慮した。

4 重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	点 / 10点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	25点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	10点 / 25点	
合計	35点 / 85点	

■CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、R: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、拆除廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい